

④-4 1年 文章に表れているものの見方や考 え方を捉え、自分の考えをもつ	年	組	番
	名前		

3

次は、夏目漱石の作品『吾輩は猫である』の本のカバーに書かれている【紹介】と、【文章の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【紹介】

中学教師の苦沙弥先生の家で暮らす猫「吾輩」から見れば、世の中は全くもって滑稽そのもの。周囲の様子を観察し、様々に評価する。ユーモアあふれる長編小説である本作は、漱石が三十八歳のときに発表して以来、多くの読者に愛されてきた。今なお、多くの人の共感を呼ぶ名作。



「ここまでのあらずじ」 苦沙弥先生の家で暮らすことになった猫の「吾輩」は、ある日、家の裏にある茶島ちやばたけで黒猫の「黒」と出会う。「黒」は大きな体格で、車屋（人力車を引く人）に飼われている乱暴猫である。それ以来、「吾輩」はたびたび「黒」に出くわすようになる。

ある日、例のごとく吾輩と黒は暖かい茶島の中で寝ころびながら、いろいろ雑談をしていると、彼はいつもの自慢話をさも新しそうにくりかえしたあとで、吾輩に向かって下しものごとく質問した。

「おめえはいままでなまみに鼠ねずみを何びきとったことがある。」

智識ちしきは黒よりもよほど発達しているつもりだが、腕力と勇氣とにいたってはとうてい黒の比較にはならないと覚悟はしていたものの、この問いに接したときは、さすがにきまりがよくはなかった。けれども事実は事実で、いつわるわけにはゆかないから、吾輩は、

「実はとうとうと思うって、まだとらない」と答えた。

黒は、彼の鼻の先からぴんとつっぱっている長いひげをびりびりとふるわせて、非常に笑った。元来黒は自慢をするだけにどこか足りないところがあって、彼の気焰（注1）きえんを感心したようにのどをころころ鳴らして謹聴（注2）きんしやうしていれば、はなはだ御しやうい猫である。吾輩は彼と近づきになってからすぐにこの呼吸をのみこんだから、この場合にも、なまじいおのれを弁護（注3）べんごしてますます形勢を悪くするのも愚である、いっそのこと彼に自分の手柄話をしゃべらしてお茶をにごすにしくはないと、思案を定めた。そこでおとなしく、

「君などは年が年であるから、だいぶんとつたろう」と、そそのかしてみた。

（注1） 気焰きえん 燃え上がるような盛んな意気。

（注2） 御しやうい 思うように扱いやすい。

（注3） お茶をにごすにしくはない ごまかすのが最もよい。

（夏目漱石『吾輩は猫である（上）』による。）

【紹介】に~~~~線部「様々に評価する」とありますが、【文章の一部】では、「吾輩」は「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしていますか。また、あなたは、そのような「吾輩」の接し方をどう思いますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 【文章の一部】から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用した上で、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていることが分かるのかを書くこと。

条件2 条件1のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書くこと。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

④-4 1年 文章に表れているものの見方や考 え方を捉え、自分の考えをもつ	年	組	番
	名前		

【紹介】に~~~~線部「様々に評価する」とありますが、【文章の一部】では、「吾輩」は「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしていますか。また、あなたは、そのような「吾輩」の接し方をどう思いますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 【文章の一部】から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用した上で、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていることが分かるのかを書くこと。

条件2 条件1のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書くこと。

(正答例)

・「はなはだ御しやすい猫である」と評価しており、「吾輩」は「黒」の機嫌をとるような接し方をしていることが分かる。私は、このような「吾輩」の接し方はとても賢いと思う。

・「腕力と勇氣とにいたってはとうてい黒の比較にはならない」と書かれていて、黒に敬意をもって接していることが分かります。相手の悪い面だけでなく、よい面にも目を向けることは大切なことだと思えます。

・「元来黒は自慢をするだけにどこか足りないところがあって」と相手を見下すような接し方をしていて、あまりよい気持ちがない。

(正答の条件)

次の条件を満たして解答している。

- ① 【文章の一部】から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用して書いている。
- ② ①で引用した表現から、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていことが分かるのかを書いている。
- ③ ②のような「吾輩」の接し方について、自分の考えを具体的に書いている。